



クロメの森を守る

宮崎県日向市
平岩採介藻グループ

- 1.地域の概要
- 2.平岩採介藻グループの概要
- 3.活動開始からこれまでの経緯
- 4.現在の活動内容
- 5.これまでの成果と課題

1.地域の概要

2.平岩採介藻グループの概要

3.活動開始からこれまでの経緯

4.現在の活動内容

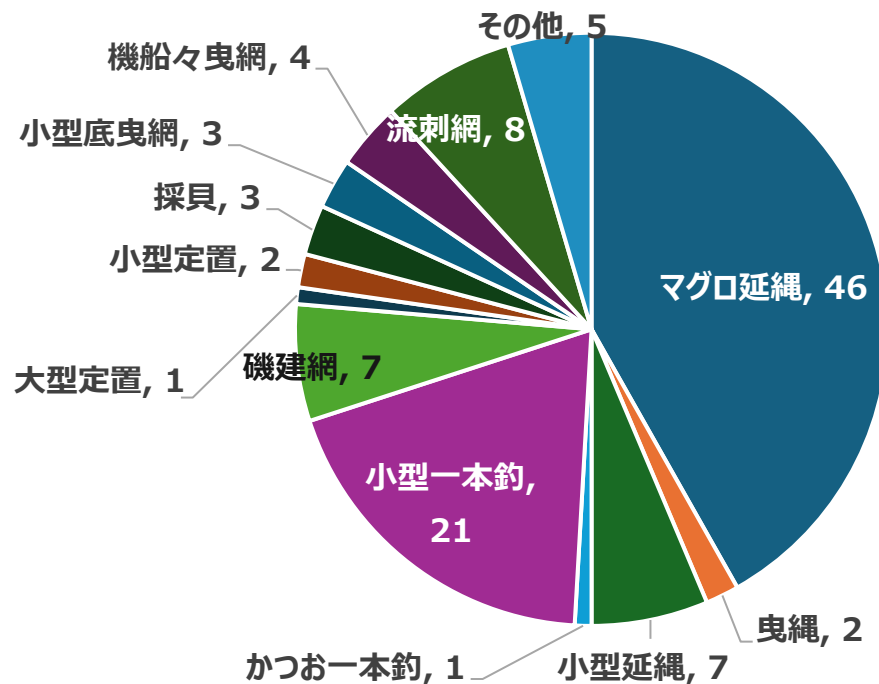
5.これまでの成果と課題

宮崎県日向市

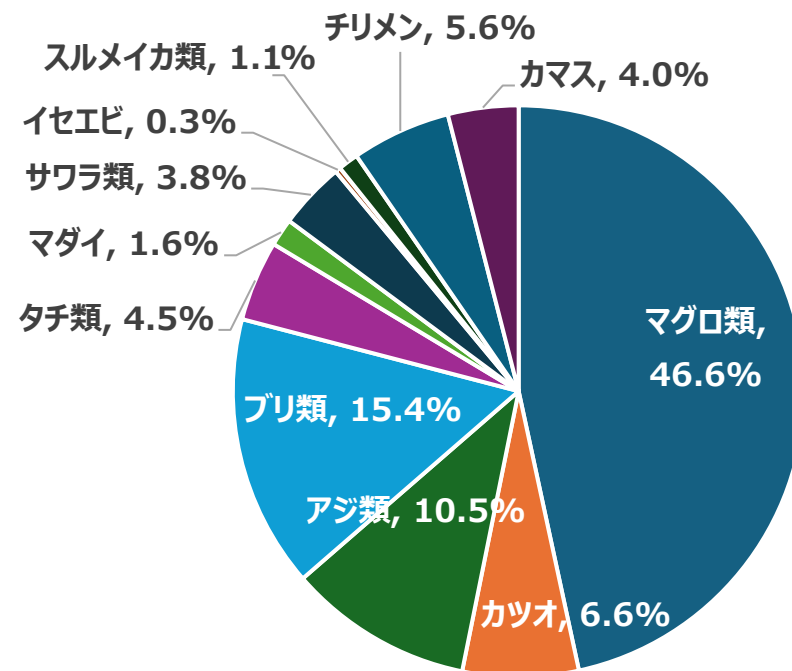
地域の漁業

- 主力はマグロ延縄漁
- 沿岸漁業も盛んに操業
- 市内5支部からなる
(平岩はその一つ)

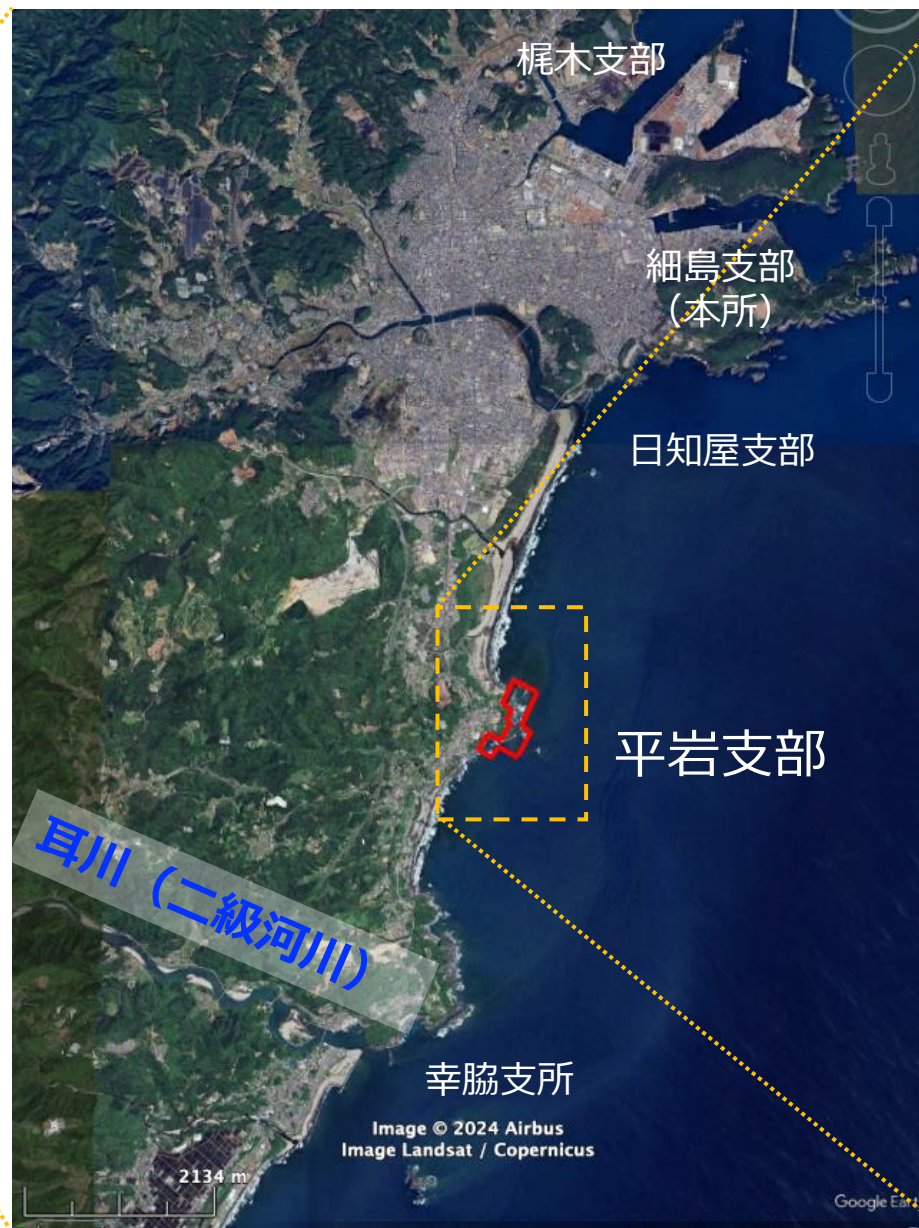
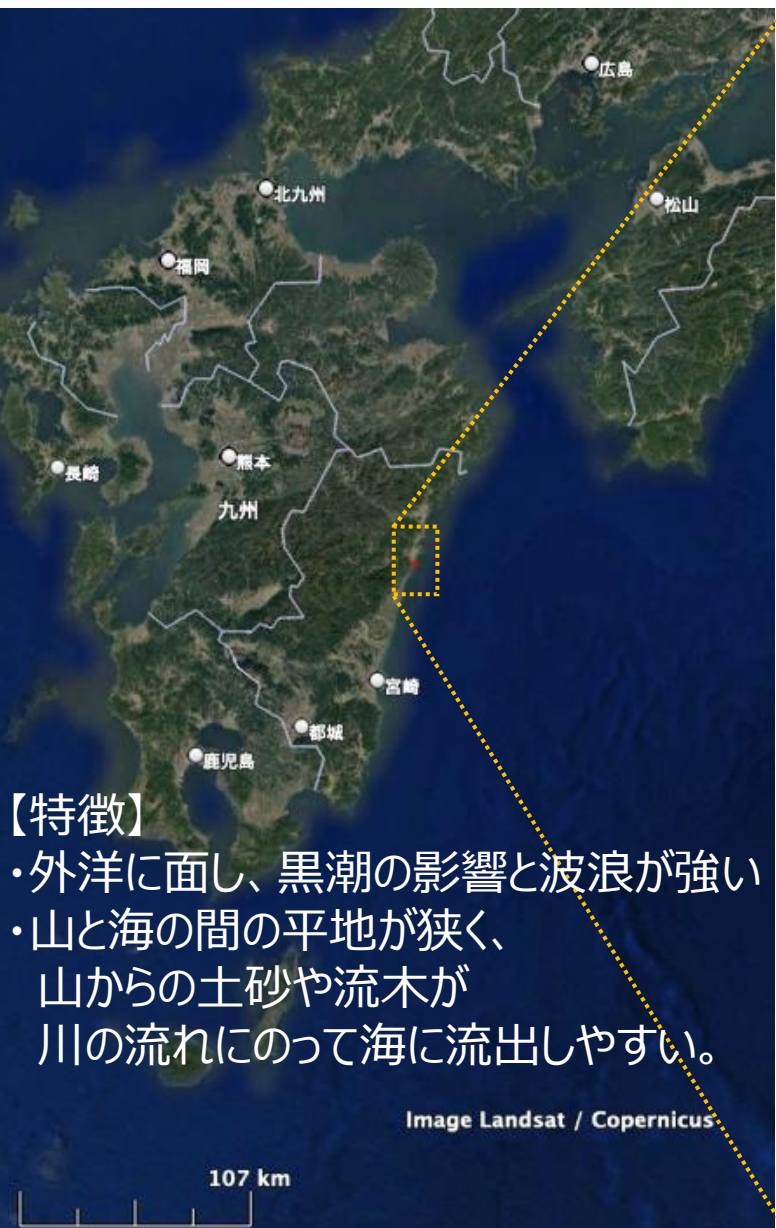
日向市漁協 経営体数(R5)



日向市漁協水揚げ（数量、R5）



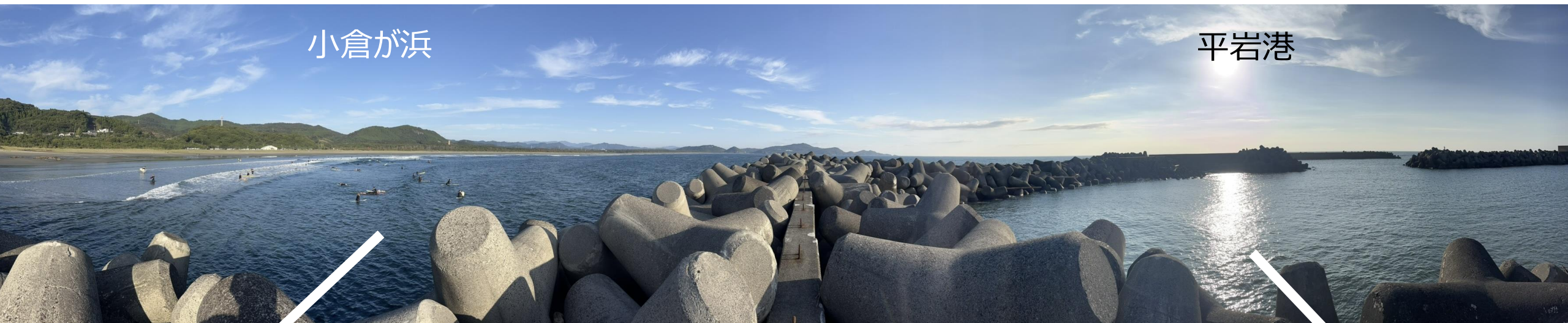
宮崎県日向市 平岩地区（日向市漁協・平岩支部）



宮崎県日向市 平岩地区

小倉が浜

平岩港



国内有数のサーフスポット



A / Photo : S.Yamamoto



1.地域の概要

2.平岩採介藻グループの概要

3.活動開始からこれまでの経緯

4.現在の活動内容

5.これまでの成果と課題

平岩採介藻グループ

活動開始	1996年
グループ結成	2010年
活動内容	クロメ藻場の保全
主な活動時期	11月～3月 (透明度が高く、波が弱い時期)
現在のメンバー	計11名 ◇漁業者 6名 ◇その他市民 2名 ◇日向市漁協職員 2名 ◇日向市職員(幹事) 1名



クロメ



コンブ目
コンブ科
カジメ属
クロメ

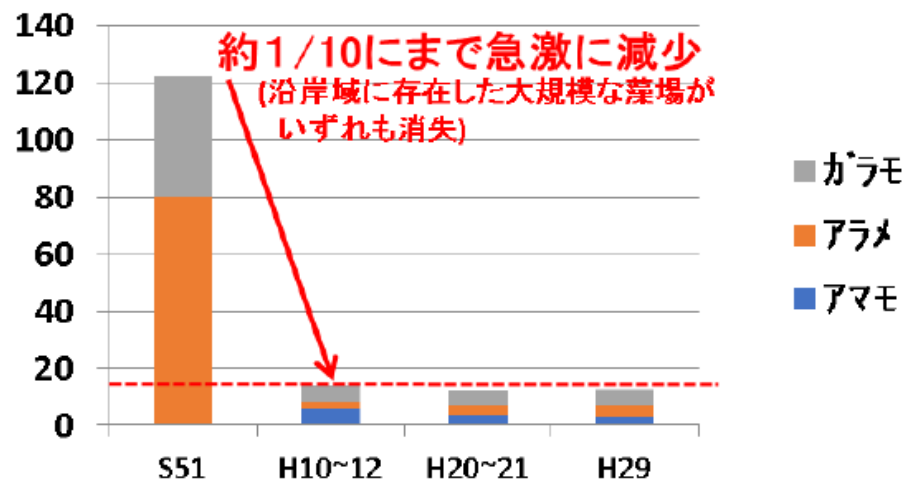


<https://www.zukan-bouz.com/syu/%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%83%A1>

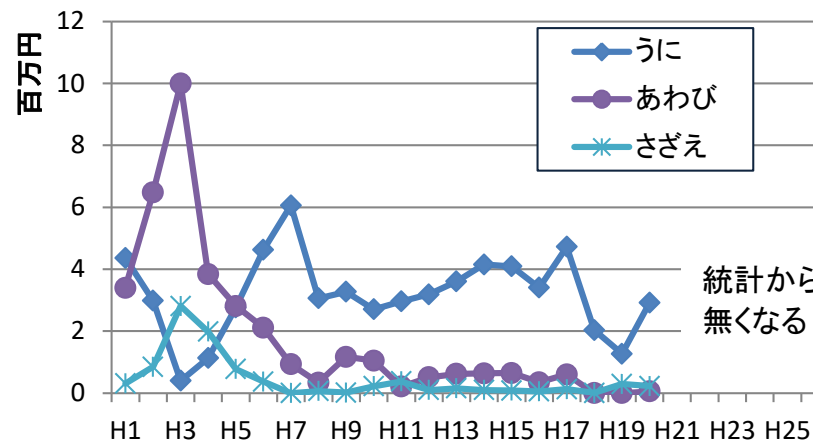
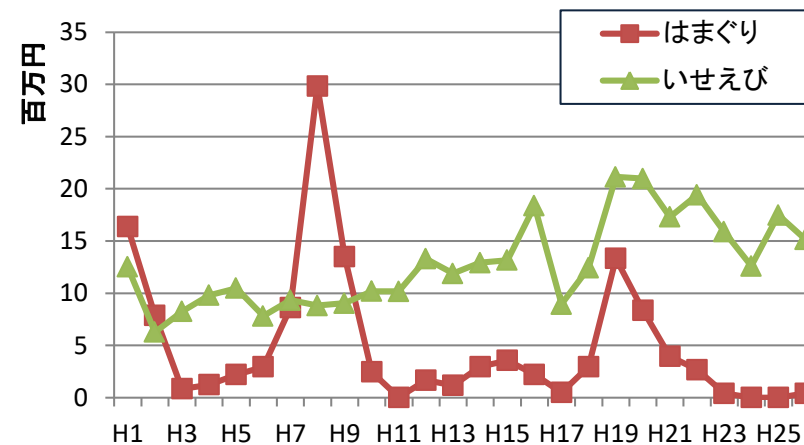
- 1.地域の概要
- 2.平岩採介藻グループの概要
- 3.活動開始からこれまでの経緯
- 4.現在の活動内容
- 5.これまでの成果と課題

活動開始の経緯

海藻の消失



根付け資源の消失



(生産額)

データは宮崎県水産政策課提供

漁業者の
自発的な藻場再生

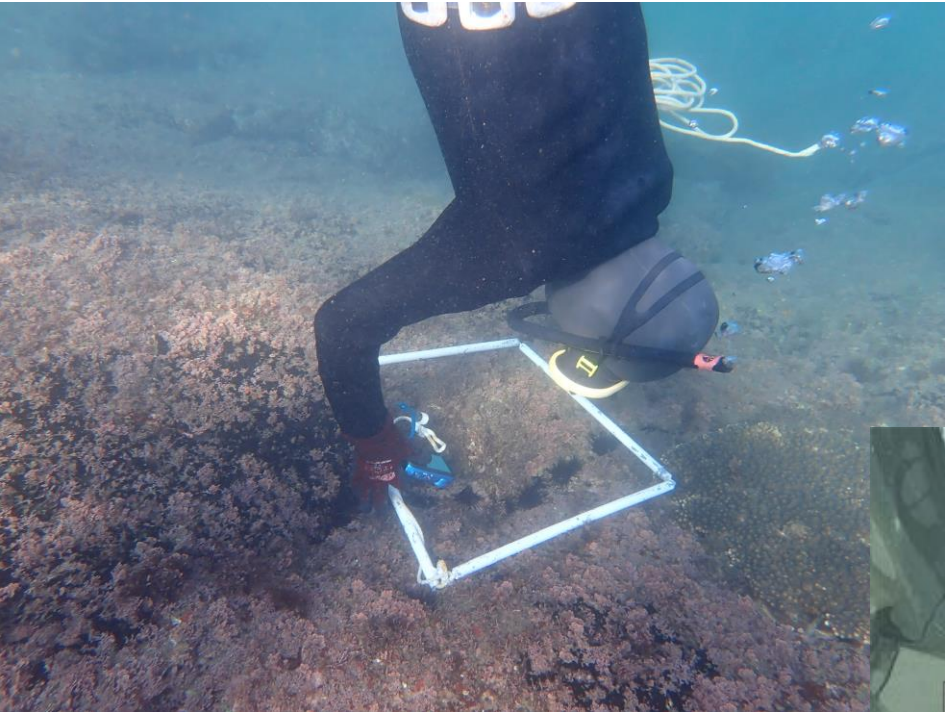
海の変化に
危機感をおぼえた
素潜り漁業者が
1996年に
自主的に活動開始。



活動開始からこれまで

年度	主な出来事	活動内容	地域連携・受賞など
H8(1996)	平岩支部:藻場造成開始	延縄式でワカメ育成＞ 定着せず	
H9(1997)		延縄式でクロメ育成＞ 定着せず	
H13(2001)		クロメ種糸を設置・ 鳥かご状ケージ内での育成＞ 定着せず	
H22(2010)	平岩採介藻グループ結成 (11名、内漁業者 9名) 水産庁環境・生態系保全活動支援事業(現・水産多面的機能発揮対策事業)	うに駆除の開始 ＞ 成果がで始める	
H24(2012)		アカモクの母藻設置＞ 定着せず	
H25(2013)		植食魚駆除（～H27/2015）	全国豊かな海づくり大会 環境大臣賞受賞
R2(2020)			宮崎県立海洋高校の実習受け入れ開始
R3(2021)	非漁業者メンバー2名が参加		ロータリークラブが市内でウニ駆除活動開始
R4(2022)			宮崎大学の課外授業@平岩を開始
R5(2023)	細島支部から漁業者1名が参加	市で水中ドローンを購入・使用開始 専門家派遣： 空中ドローンによるモニタリング指導	ロータリークラブや市民が流木撤去に参加 地元テレビ局・MRT宮崎放送SDGs大賞受賞
R6(2024)	環境省・自然共生サイト申請	植食魚駆除を再開 専門家派遣：藻類調査（予定） 専門家派遣(環境省):魚類調査	宮崎大学の学生が参加を検討中

活動開始からこれまで



効果検証をしながら、
徐々に活動範囲を拡大

漁業者が定点モニタリングし、
藻場分布・ウニ密度を記録

市職員がCADを用いて
藻場の推定面積を算出



年度	ウニ類除去		
	延べ人数	日	活動ha
H22	92	10	2.25
H23	83	10	2.25
H24	106	14	4.2
H25	80	13	7.5
H26	97	14	9.4
H27	67	17	9.4
H28	45	10	9.4
H29	56	11	9.4
H30	49	9	9.4
R1	32	8	9.4
R2	46	8	9.4
R3	110	12	26.4
R4	106	8	26.4
R5	75	8	26.4

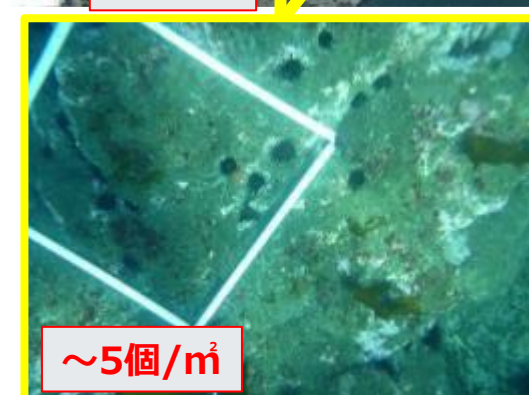
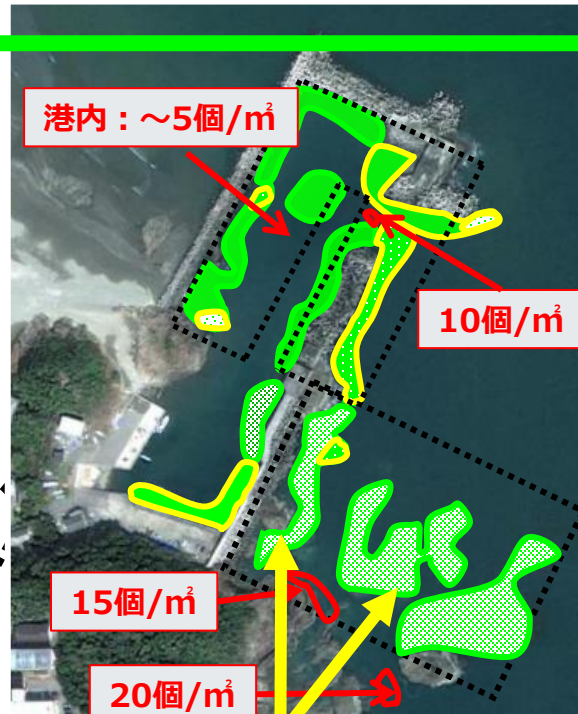
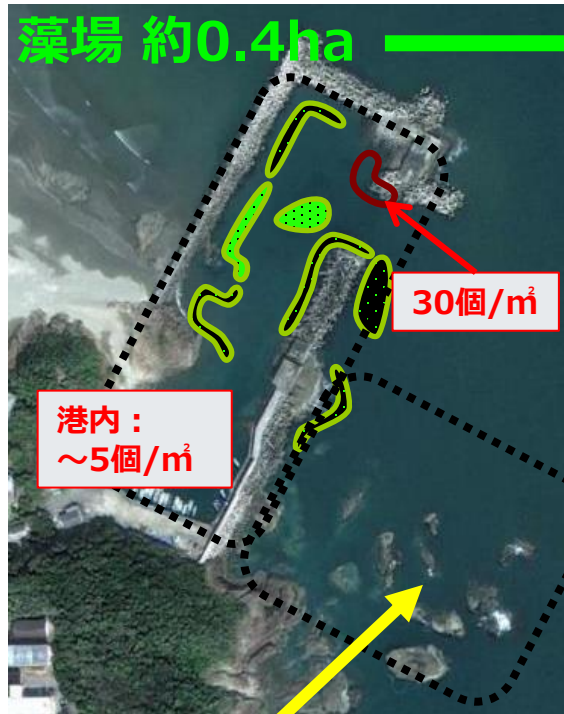
効果測定をしながら、活動範囲を徐々に拡大

ウニ類除去開始時：H23.1
活動 2.25ha

H25.3
活動 4.2ha

H26.3
活動 7.5ha

R3～
活動 26.4ha



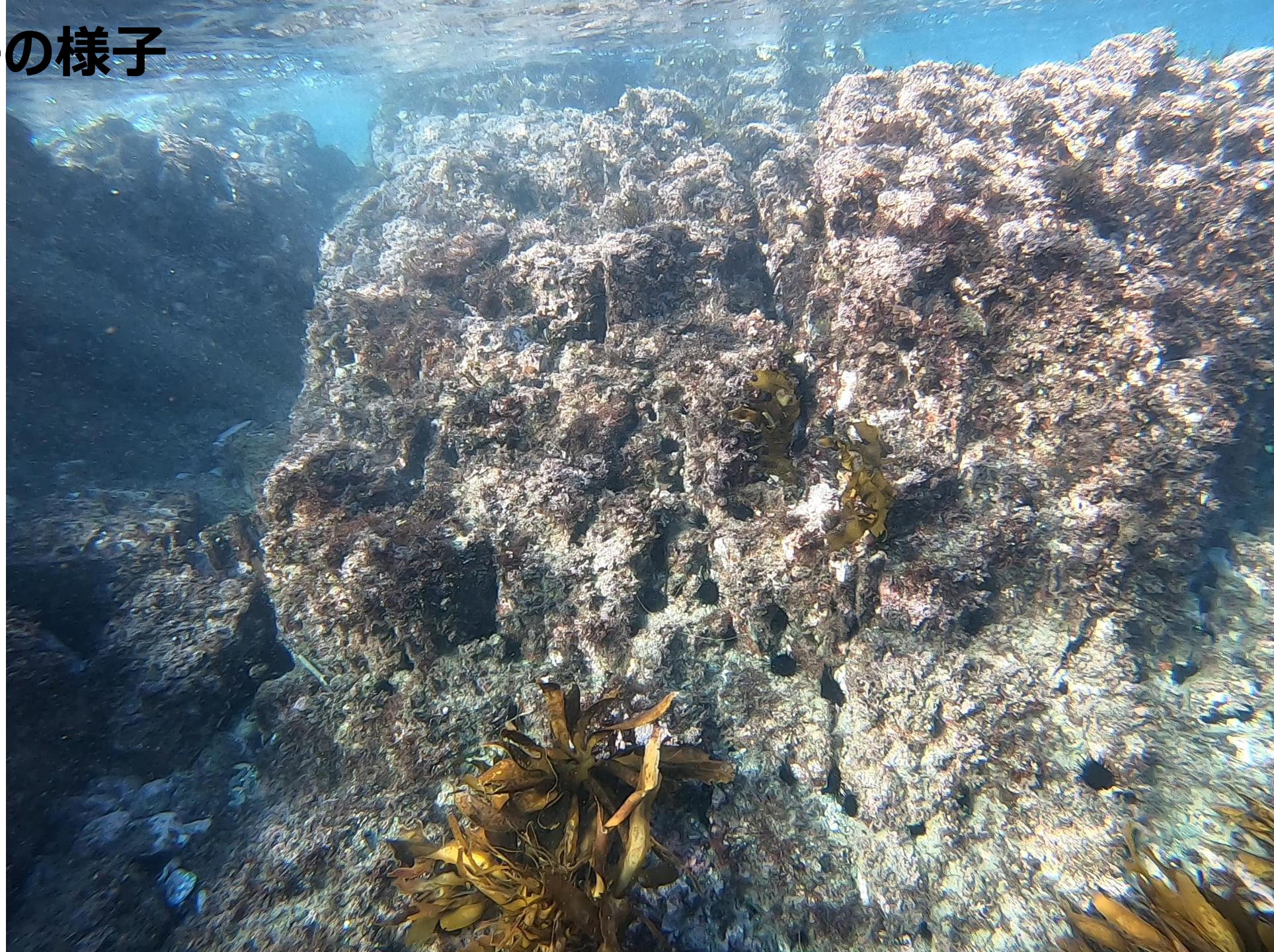
点生
 疎生
 密生
 濃生
 ホンダワラ類混成

以前の海の様子

多いところでは
 $100\text{個}/\text{m}^2$ 以上



現在の平岩の海の様子 (2024年1月)



- 1.地域の概要
- 2.平岩採介藻グループの概要
- 3.活動開始からこれまでの経緯
- 4.現在の活動内容**
- 5.これまでの成果と課題

活動内容

浮遊堆積物除去

ウニ・魚類除去

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

漁業
優先

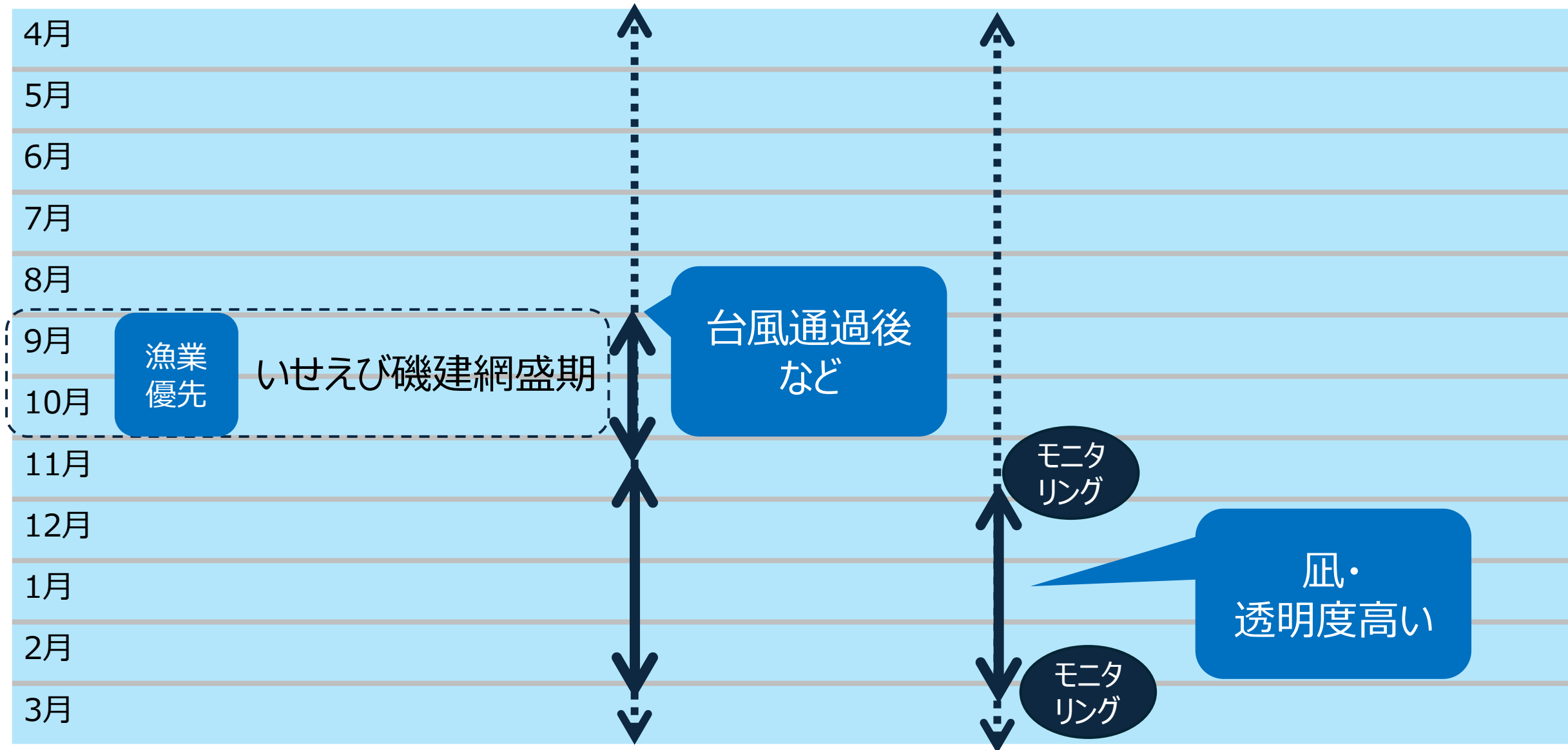
いせえび磯建網盛期

台風通過後
など

モニタ
リング

凧・
透明度高い

モニタ
リング



活動内容：

①素潜りによるウニ駆除

通常11月頃～3月上旬

水温11月 20℃～2月 14℃

潜水活動 約10回/年（1回2～3時間）



活動内容：

①素潜りによるウニ駆除

通常11月頃～3月上旬

水温11月 20℃～2月 14℃

潜水活動 約10回/年（1回2～3時間）



活動内容：

①素潜りによるウニ駆除

通常11月頃～3月上旬

水温11月 20℃～2月 14℃

潜水活動 約10回/年（1回2～3時間）



活動内容：

①素潜りによるウニ駆除



活動内容：

①素潜りによるウニ駆除



活動内容：

②流木撤去

R4(2022)

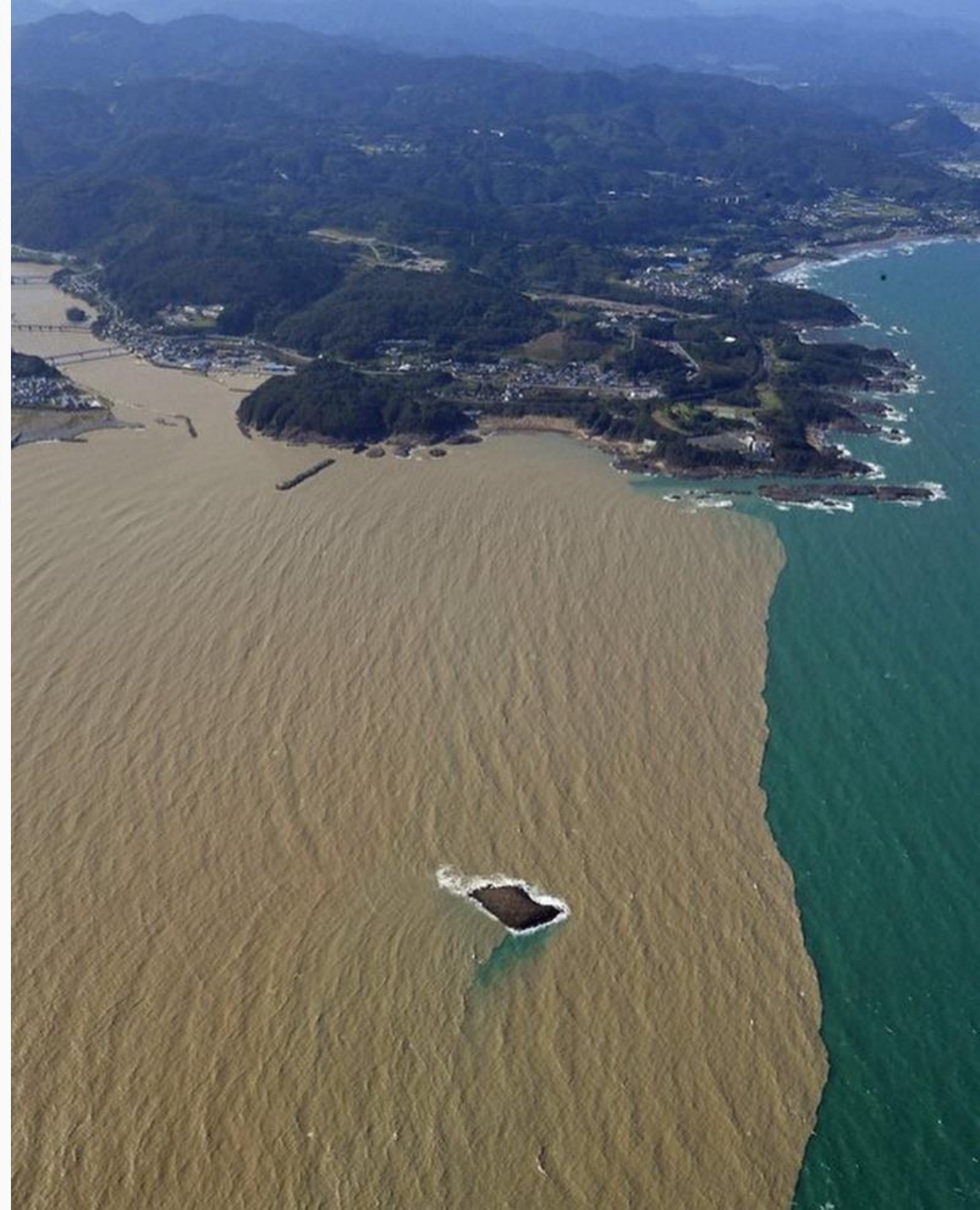
台風14号による
流木と濁り



台風14号による大雨で上椎葉ダムに流れ込んだ大量の樹木＝宮崎県
椎葉村で2022年9月20日午後3時10分、本社ヘリから上入来尚撮



台風14号による大雨で上椎葉ダムに流れ込んだ大量の樹木＝宮崎県
椎葉村で2022年9月20日午後3時3分、本社ヘリから上入来尚撮影



毎日新聞

9月20日掲載写真より

活動内容：

②流木撤去

2022年10月11日
台風14号から1か月後の
平岩の船着場



活動内容：

②流木撤去



活動内容：

②流木撤去



2022年10月22日
台風から1.5か月後



2022年11月22日
台風から2.5か月後
すべてのごそを撤去



活動内容：

③植食性魚類除去



	尾数	重量 (kg)	備考
H25	3	6.3	トイスズミ
H26	8	8.9	トイスズミ ブダイ
H27	9	7.6	トイスズミ ブダイ アイゴ

刺し網による植食魚駆除。

H28以後食害は魚類による食害が減っていたが、近年再び確認されるようになり、R6から刺網による駆除を再開。

- 1.地域の概要
- 2.平岩採介藻グループの概要
- 3.活動開始からこれまでの経緯
- 4.現在の活動内容
- 5.これまでの成果と課題

活動の成果

①藻場の拡大

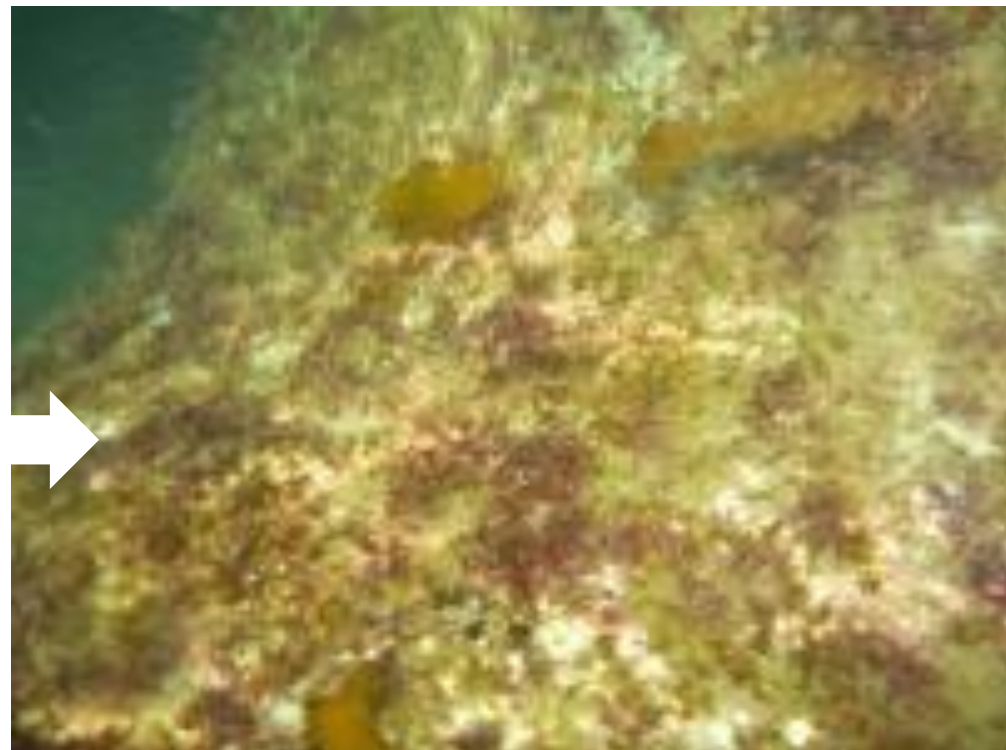
藻場面積 0.4ha -> 8.6ha

豊かなクロメの森が見られるように。

R4 12月に撮影

活動の成果

②ウニの身入り改善



ウニの生息密度が減り、
ウニの身入りが改善

活動の成果

③その他の高単価魚種の生育状況の向上

生育の良いイセエビ・アワビが確認されるように



活動の成果

④魚類の増加

魚・小魚等の群れが見られるように



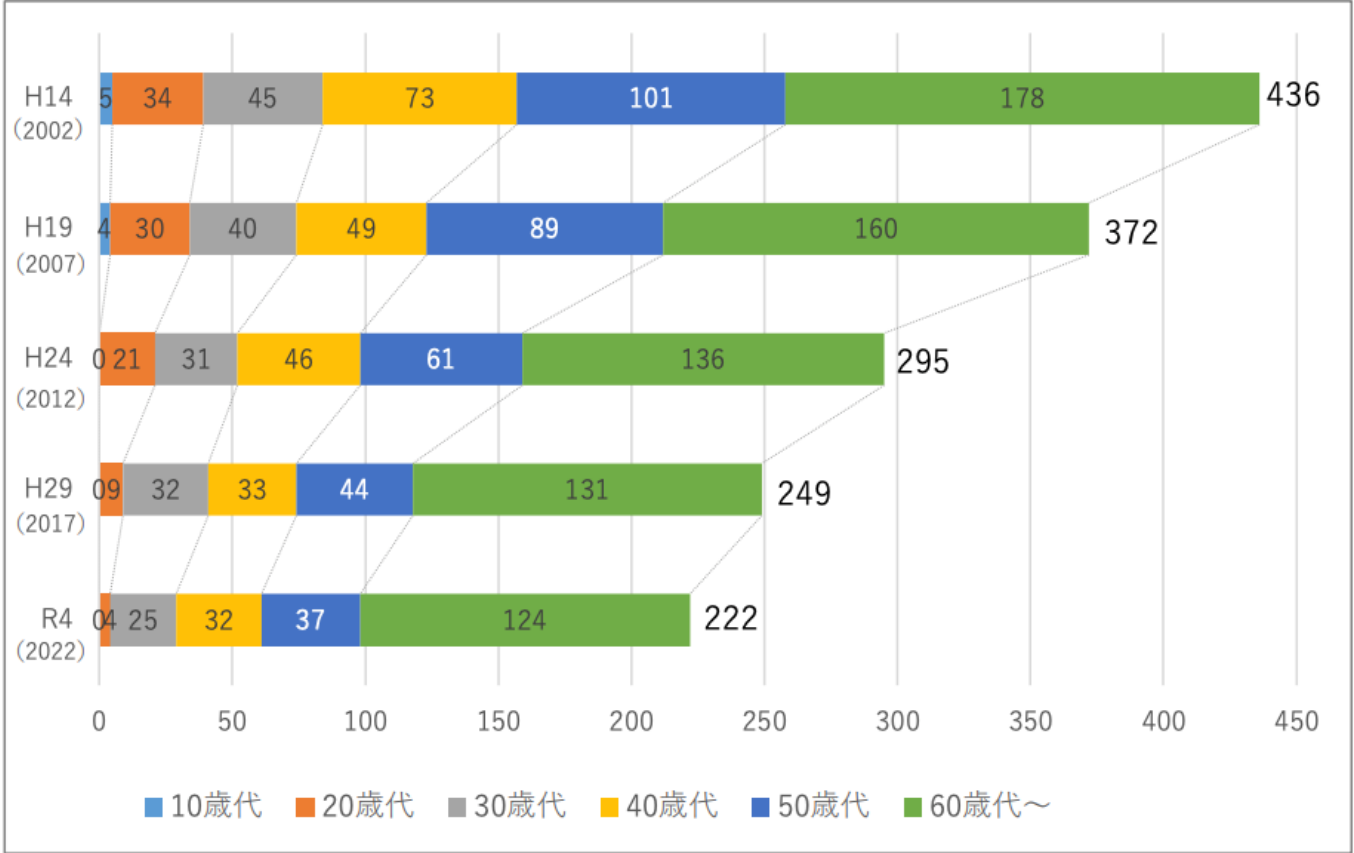
今後の課題と取り組み



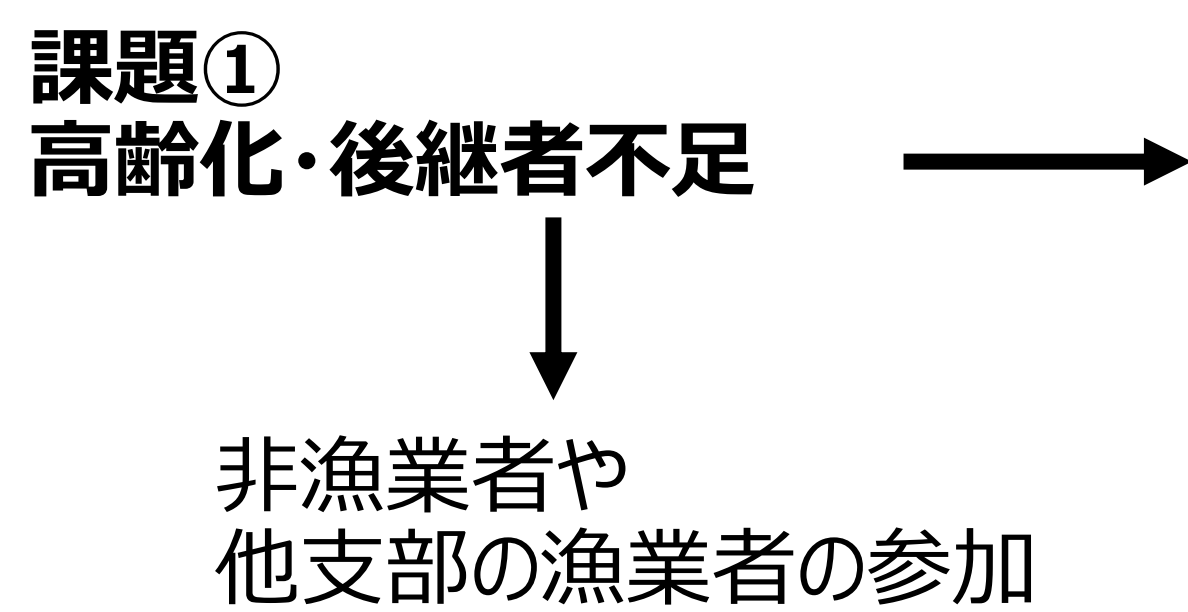
課題① 高齢化・後継者不足

日向市漁協の漁業者数の推移

日向市漁業協同組合員 年代別組合員数の推移（准組合員含む） （単位：人）



（資料：日向市漁業協同組合業務報告書）



後継者の育成（教育活動）



課題① 高齢化・後継者不足 → 地域内外への発信

【SNSでの発信】
@hyuga_hiraiwa_fishers



【地域外・アカデミアへの発信】
森と海のつながりをテーマにした
シンポジウムへの登壇



【地元への発信】
地元テレビ局で環境賞を受賞

森と海のつながり考える

焼き畑文化(業)藻場再生(目)軸に

「海の底に潜り、藻場を再生させる。それは、焼き畑文化の海への継承である。」

平賀拓也さん(平賀拓也さん)

平賀拓也さん(平賀拓也さん)

【メディア発信】

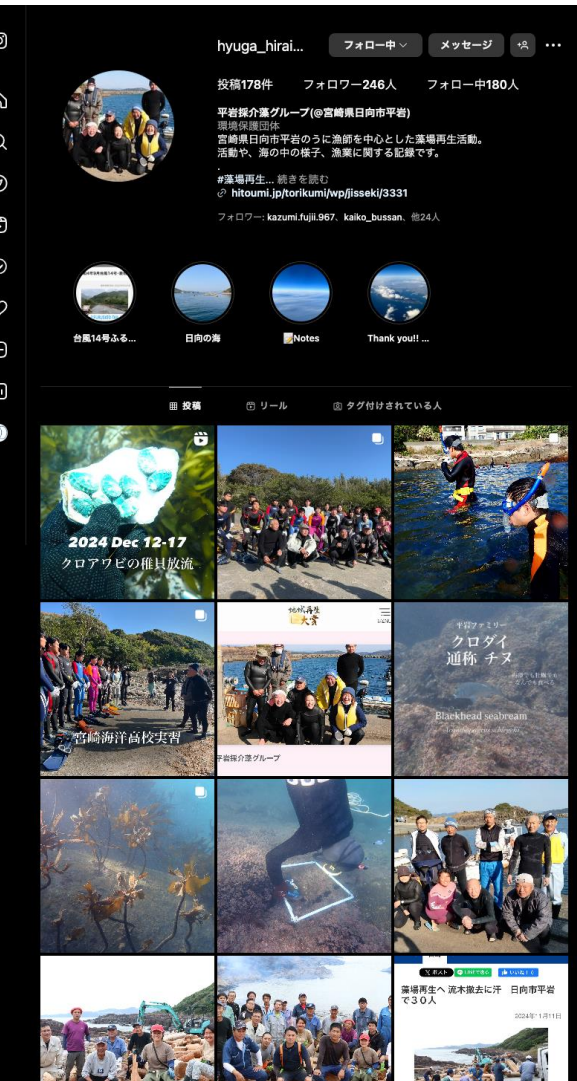
ウニ除去「宝の海」戻る

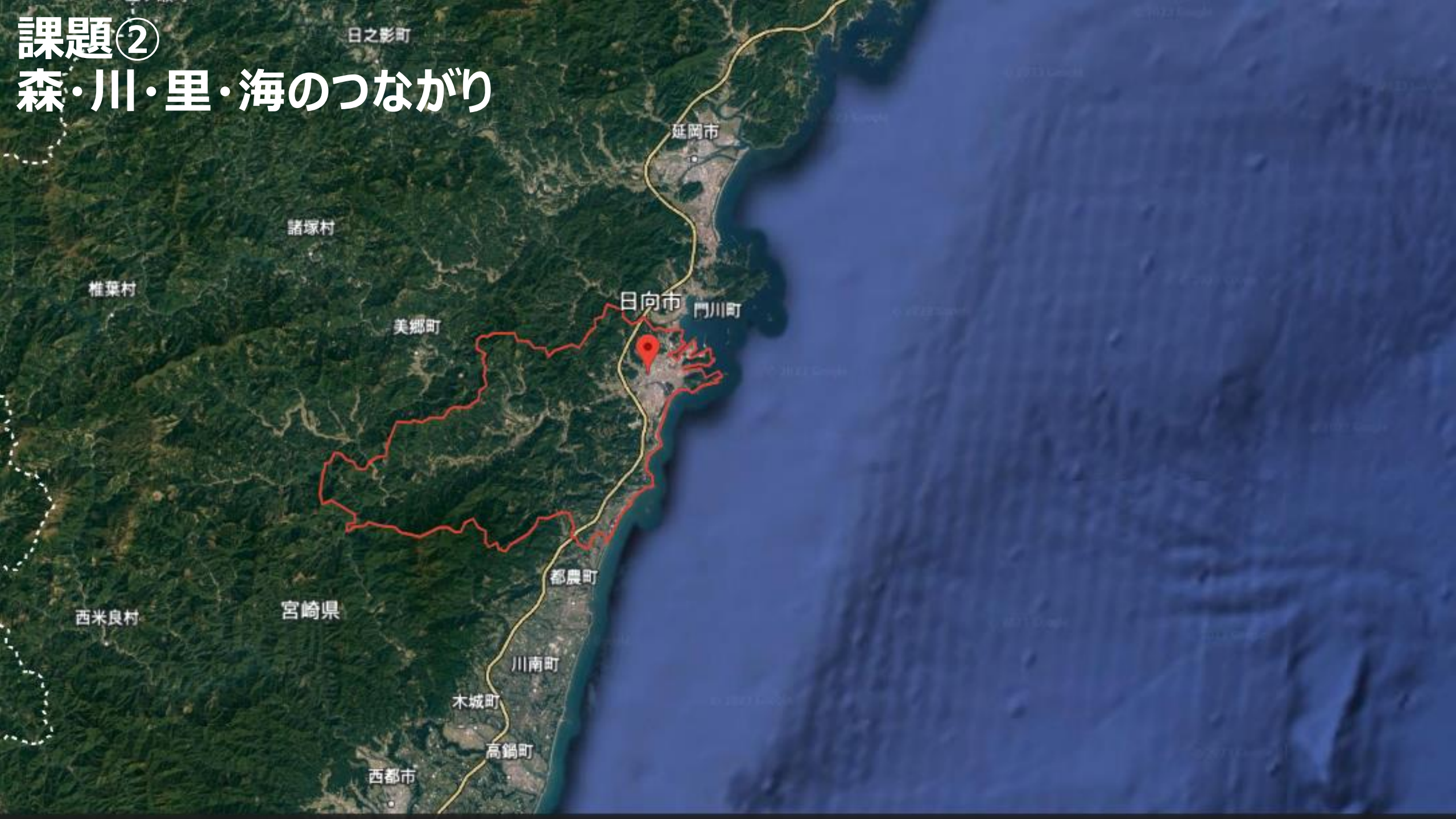
素潜り仲間と地道に努力

温暖化と闘う漁師

食物連鎖崩れ 漁業影響

宮崎県 日向市 平賀拓也さん





課題②

森・川・里・海のつながり

課題②

森・川・里・海のつながり

頻発する台風と土砂災害

宮崎県県土整備部河川課（2019）



台風				被害額（円）				
				宮崎県	日向市	美郷町	諸塚村	椎葉村
H22 (2010)	14号	9月6日	925hp	1289億	38億	180億	96億	263億
R4 (2022)	14号	9月19日	910hp	722億	23億	71億	98億	149億

課題②

森・川・里・海のつながり（流木漂着） → 林業関係者や市民との連携



課題③ 加速する海の変化



課題③ 加速する海の変化



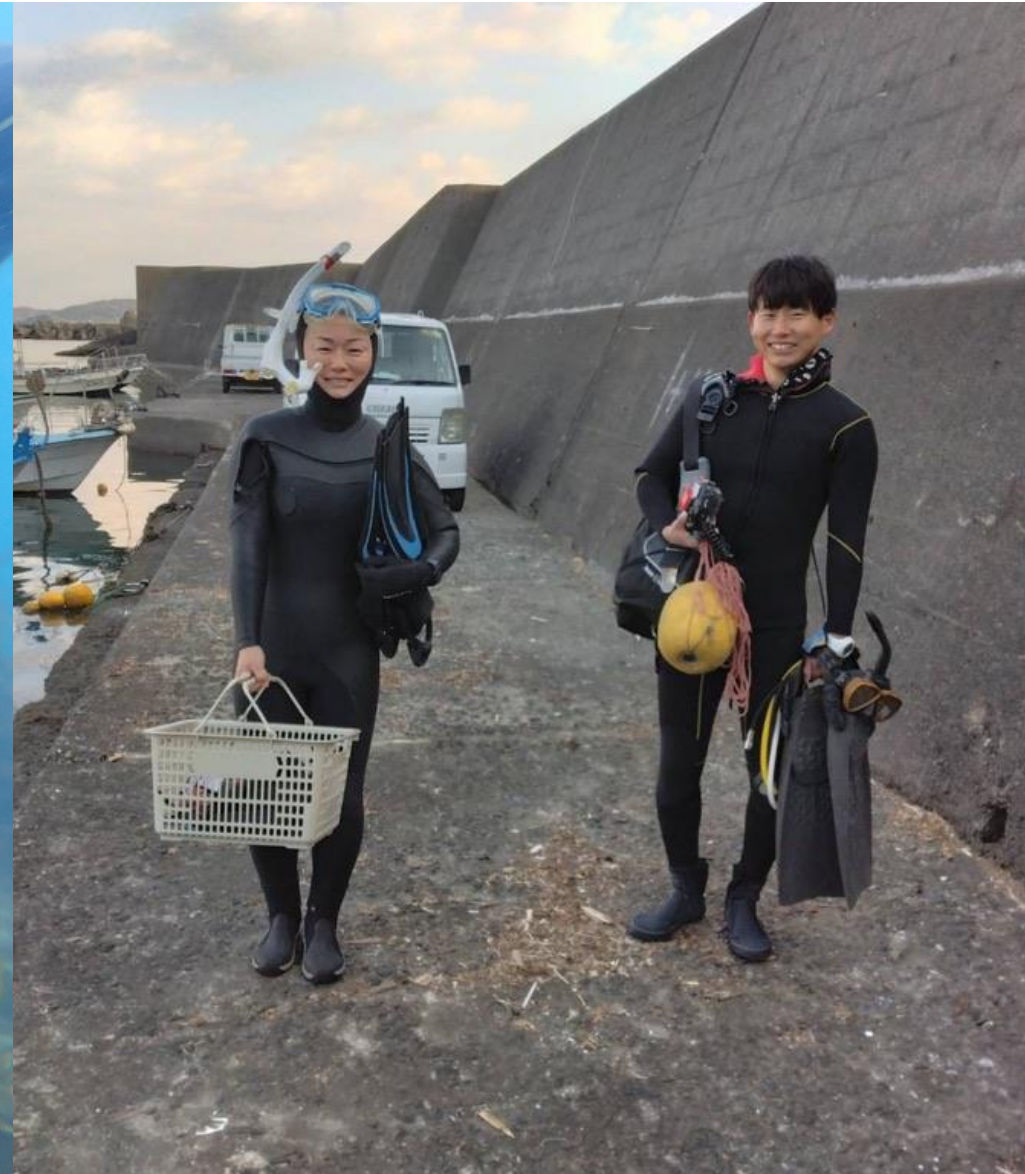
モニタリングの強化（ドローン・個別サポートを活用）



課題③ 加速する海の変化 → モニタリングの強化（水中ドローン）



課題③ 加速する海の変化 —————> モニタリングの強化（潜水器の利用）



課題③ 加速する海の変化



環境省・自然共生サイトに申請（R6後期）
活動への新たな支援獲得や、認知拡大を目指す



自然共生サイト認定

30by30

ご清聴
ありがとうございました。

